

久保木清美さん ご苦労様でした！

久保木清美さんは、3月26日461Aで最終乗務を終えられました。

昭和49年国鉄新幹線総局大阪第一運転所（鳥飼基地）に配属されその後、新幹線運転士を経て国鉄改革では新幹線エンジニアリング（SEK）の派遣に応じ、今のJRの基盤に尽力されました。

JRになってからは関西支社経理課に勤務され当時、東海労組支社分会の三役を務められました。会社の御用組合策動に抗しJR東海労に加入され、分会長として分会を牽引してこられました。

しかし、会社からの組織破壊攻撃及び労務管理強化を目的とした「専任社員の雇用に関する協約」の中の差別雇用体系・差別賃金体系である、いわゆる「専任V」に指定されました。

このように、会社から常に敵視されながらも42年間の鉄道人生を無事全うされました。

これまで久保木さんを支えてこられた家族の皆さん、大変ご苦労様でした！



現在、JR東海はリニアの着工を控え、徹底した効率化とコスト削減が追求されています。

職場では、要員不足から年休の未発給、失効問題をはじめ、問題が山積しています。今後も力を合わせて働きやすい職場環境、安心して働ける社会を目指して共に歩んでいきましょう！

残念ながら42年間の有終のセレモニーを大二運輸所上田光博助役の盗撮という行為によりぶち壊されました。